

# 働きやすさとやりがいのために

## 健康経営への取り組み

当社では、従業員の健康保持や増進への取り組みが、企業価値、収益性などを高める投資であるとの考えに立ち、健康管理を経営的視点からとらえ、2018年度より戦略的に実践する「健康経営」\*を推進しています。2022年度から5か年計画を策定し、経済産業省による健康経営度調

査の結果を踏まえ、「生活習慣」「労働時間・休職」項目の改善を継続的に実施してまいりました。それに加え、2023年度は「メンタルヘルス対応」、「病気予防」への取り組みを強化しました。

\*「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

### 健康宣言

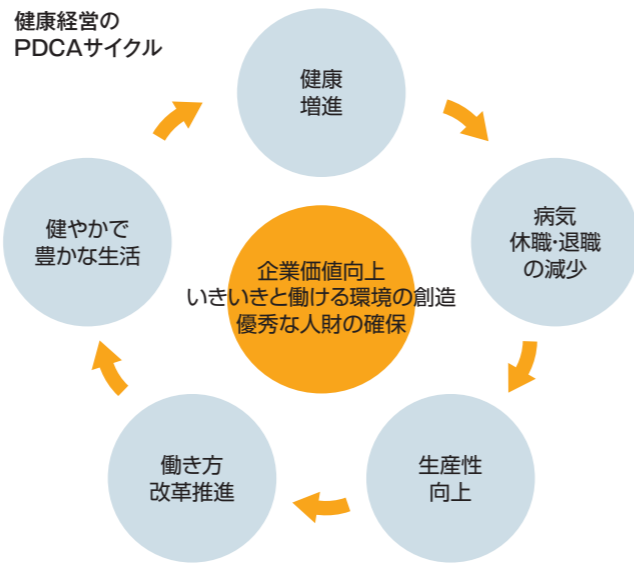
わたしたちは人々が心豊かに生きる社会の実現を目指しています。

そのためには、従業員とご家族そしてフジタで働くすべての皆さんが健康第一で心身ともに健やかであることは欠かせません。

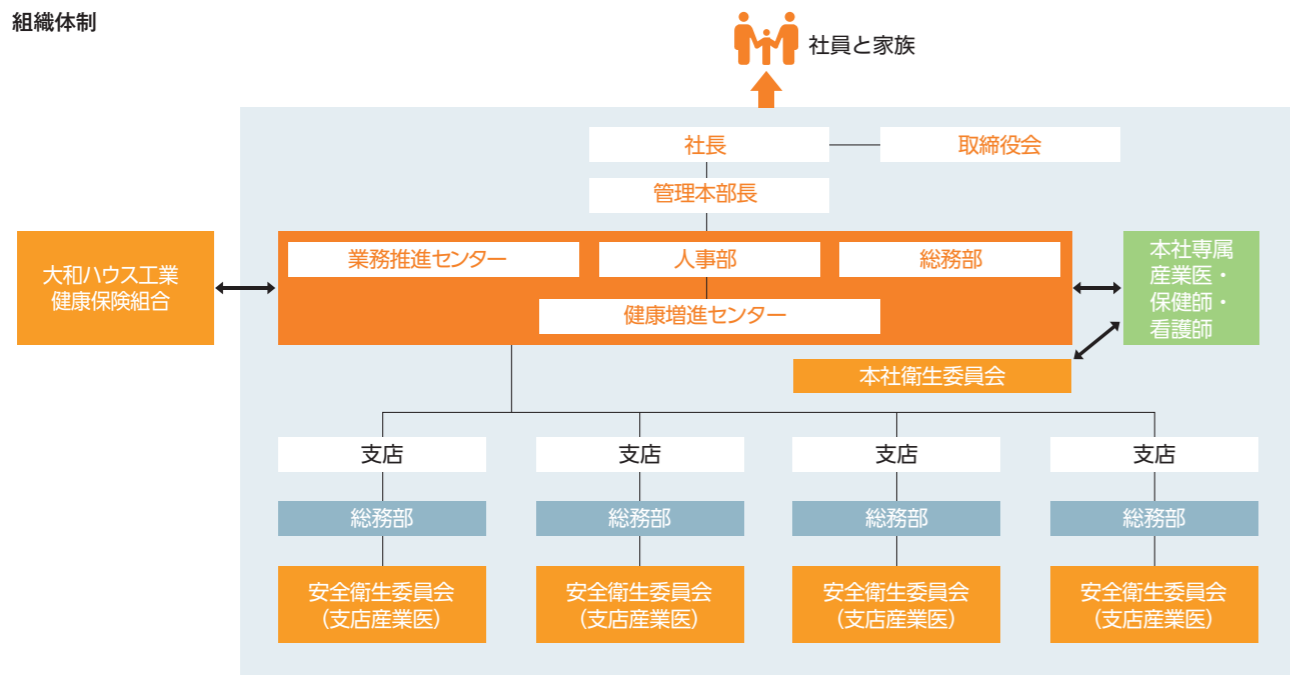
フジタは健康をとことん追求する会社を目指します。

企業の発展とフジタに関わる皆さんの健康維持増進はともにあるという考えのもと、健康意識が高まるように積極的に働きかけます。

そして自分らしく健康に働き続けられる企業を目指して健康経営に取り組むことをここに宣言します。



## 組織体制



## 5か年計画の進捗

2022年度から開始した5か年計画では、「健康管理体制の強化」「健康経営の発信強化」「病気予防・早期発見」「働き方改革」の4つの視点から、さまざまな施策を実施しました。「健康管理体制の強化」においては、2022年度に導入した健康管理システムを健診予約や未受診者勧奨、管理不良者面談などに活用することで、担当者の業務の効率化を実現しました。また、メンタルヘルス対策推進のため、管理職向け「ラインケアセミナー」を実施し、安心して働くために相談しやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

5か年計画の目標の一つである「定期健診100%受診・二次検診の受診率向上」については、2023年度は定期健診

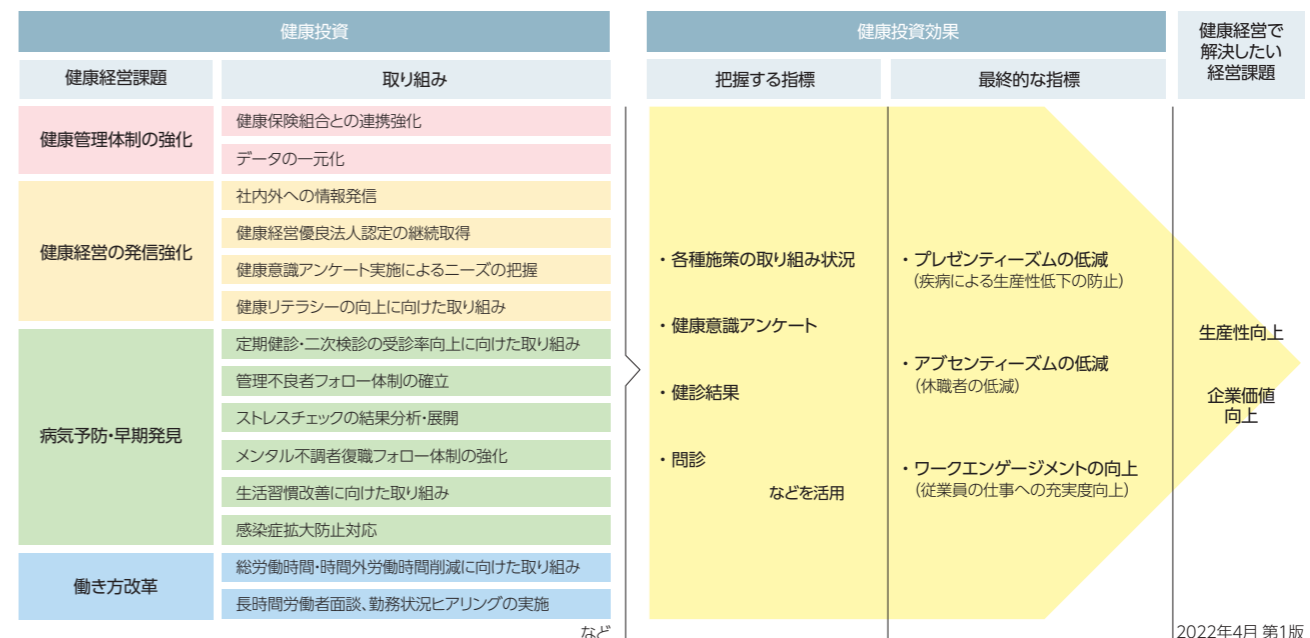
は100%受診を達成、二次検診の受診率は95.3%で前年比6.9%増、管理不良者のうち保健指導を受診した割合は98.6%で前年比26.5%増と前年を上回る結果となり、従業員一人ひとりの健康意識が向上しつつあると評価しています。

2024年度は、健康経営5か年計画の中間年度にあたります。今年度末に計画の進捗を測定し、見直しやさらなる施策の検討を行います。健康経営をより促進していくために、「心と体の健康」に注力することにより、社員一人ひとりが自分らしく、健康的に働き続けることができる企業を目指してまいります。

- スローガン**  
自分らしく健康に働き続けるために、意識や行動を変えるきっかけづくりを推進します
- ポイント**
- 健康課題解決に向けた健康施策の実施
  - 健康管理システムの導入による健康情報の一元化
  - 定量的な指標\*による健康経営推進状況の測定
- \*健康経営の定量的指標  
アブセンティズム……… 病気で休職による生産性損失を測る指標  
プレゼンティズム……… 健康に不安を抱えつつ仕事をこなしていることによる生産性損失を測る指標  
ワークエンゲージメント…… 従業員の仕事に対するポジティブで充実した心理状態

健康経営項目	課題	主な取り組み
健康管理体制の強化	・全社健康経営推進体制 ・組織の強化	・健康管理システム導入による健康情報の集約、一元化
健康経営の発信強化	・社内外への発信と従業員への浸透 ・生産性向上へ向けた数値の測定 ・健康リテラシー向上	・健康経営優良法人認定ホワイト500を目指した取り組み強化 ・健康アンケート実施による指標の測定
病気予防・早期発見	・フィジカル・メンタル両面からのフォロー ・各種健康施策の計画と実施	・管理不良者のフォロー体制確立 ・生活習慣改善への施策 ・健康関連補助金の一層の拡充
働き方改革	・労働時間の削減	・長時間労働者面談や、勤務状況ヒアリングなどの継続実施

## 5か年計画戦略マップ



## 健康経営実現のための2023年度の取り組み

### 健康補助金制度の拡充

2020年度に運用を開始した定期健康診断以外のがん検診などに対する補助金制度について、2023年度は39歳以下被扶養者（配偶者）の健康診断を補助対象とし、ご家族の健康管理にも注力しています。病気予防・早期発見につながる検診や禁煙外来の受診、SAS（睡眠時無呼吸症候群）の簡易検査などに補助金を支給し、積極的な健康・予防を推進しています。利用者も年々増加し、2023年度は2,000名を超える方が制度を活用しました。

### 禁煙チャレンジ

喫煙・受動喫煙対策の取り組みとして、2022年度より自ら禁煙を望んでいる社員を募集する「フジタ禁煙チャレンジ」を開始しました。社員のチャレンジを、保健師によるカウンセリングや定期的なメールによりさまざまなアドバイスを送り、つらい時の励ましを行なってフォローしています。昨年度に続き禁煙成功者が出ており、本人のみならずご家族の受動喫煙対策の面からも好評を得ています。

### 健康管理システムHM-neo

2022年度に導入した健康管理システムHM-neoにより、従業員自身で定期健康診断の日程変更や健康診断結果の閲覧をすることが可能となりました。また、定期健康診断、二次検診の未受診者をシステム内で管理できるようになり、業務の効率化を実現しました。

### 健康アプリを使用したウォーキングイベントの実施

健康増進を目的とした健康アプリを活用した歩数チェックを実施しています。歩数上位者や厚生労働省が推奨する歩数を達成した社員には、健康グッズのプレゼントも企画しています。参加者からは「イベントがきっかけで歩くことがより好きになった。これからもウォーキングを続けていきたい」など好評を得ています。

### 女性特有の健康課題について

女性特有の健康課題の現状を把握し、健康保持・増進することを目的としたアンケートを女性従業員対象に実施し、85.6%と高い回答率を得ました。

## 従業員に対する健康教育

### 健康セミナーの実施

健康に対する理解促進を目的としたセミナーを実施しており、2023年度は健康意識アンケートで従業員のニーズが最も高かった「肩こり・腰痛・頭痛セミナー」や、口腔に関する「オーラルケアセミナー」を初めて開催しました。セミナー後に実施したアンケートでは満足度が97.7%と好評を得ています。



健康セミナーの様子

### 管理不良者・メンタルヘルスへのフォロー強化

定期健康診断の結果、管理不良者と判断された従業員については上司に報告し、産業医や保健師と面談の上、医療機関の受診や治療を促しました。特に保健師との面談では、改善に向けた食事指導や生活習慣の指導なども行なっています。メンタルヘルスに対しては、支店で実施しているカウンセリングと合わせて、産業カウンセラーによる作業所巡回カウンセリングを実施し、メンタル面のケアに取り組んでいます。また、2023年度はメンタルヘルス対策を推進するため、管理職向け「ラインケアセミナー」を実施し、対象者の97%が参加しました。

### e-ラーニングの実施

ヘルスリテラシー向上を目的に、e-ラーニングを活用した健康に関する教育を年1回実施しています。毎月発行している健康だよりの内容を中心に、身近な健康の話題を学ぶ内容となっており、2023年度は94.6%と高い受講率となりました。